

農 研 速 報

令和4年2月28日

茨城県農業総合センター農業研究所

〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402

TEL:029-239-7212 FAX:029-239-7306

麦の生育状況(2月17日現在)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	備 考
水 戸	11月5日播種 小麦 (さとのそら)	分けつ期	1日早い	気象概況:1月第6半旬～2月第3半旬(過去5年間の平年値との比較) 上記期間の平均気温は2.8℃で、平年(4.4℃)に比べかなり低かった。降水量は41mmで、平年(44mm)並だった。日照時間は150時間で、平年(142時間)並だった。 生育状況(過去5年間の平均値との比較): (11月5日播種) ●さとのそら 主稈葉数はやや多く、草丈は短く、茎数は多かった。 ●カシマムギ 主稈葉数は平年並で、草丈はかなり短く、茎数は平年並だった。 ●カシマゴール 主稈葉数はやや少なく、草丈はかなり短く、茎数は並だった。 (11月19日播種) ●さとのそら 主稈葉数は多く、草丈はやや短く、茎数は平年並だった。 ◇主稈長から予測した茎立期 (11月5日播種)さとのそら:3/22頃、カシマムギ:3/20頃、カシマゴール:3/17頃 (11月19日播種)さとのそら:3/26頃	【留意事項】 ・「幼穂形成始期」は初めて小穂始原体が分化した日とする。 (主茎幼穂長0.5mm以上を目安) ・「幼穂形成期」は40～50%の茎に小穂始原体が分化した日とする。 (主茎幼穂長2mm以上が40～50%みられた日) ・「対平年遅速」は、主稈長から予測した茎立期等を基に表記した。 【今後の管理】 晴天が続く圃場が乾いているときに麦踏みを行う。 (麦踏みは、茎立期前まで可能)
	六条大麦 (カシマムギ)	幼穂形成開始期	平年並		
	(カシマゴール)	幼穂形成期	2日遅い		
	11月19日播種 小麦 (さとのそら)	分けつ期	7日早い		

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月・日)	麦種	品種名	主稈葉数			草 丈			茎 数			葉色(SPAD値)		
			本 年 (枚)	前年差	平年差 (枚)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.5	小麦	さとのそら	6.6	+1.3	+0.6	10.8	90	90	1,498	132	122	46.3	94	96
	六条大麦	カシマムギ	5.8	+0.2	0.0	9.8	92	81	1,075	142	111	47.8	89	90
		カシマゴール	6.1	+0.1	-0.3	11.2	88	79	1,087	99	101	40.4	105	101
11.19	小麦	さとのそら	4.6	+0.3	0.5	8.2	98	90	613	126	106	47.0	106	96

播種期 (月・日)	麦種	品種名	主 稈 長			主稈幼穂長			主稈長から予測した茎立期(月・日)		
			本 年 (mm)	前年差	平年差 (mm)	本 年 (mm)	前年差	平年差 (mm)	今後の気温の推移(平年比)		
11.5	小麦	さとのそら	4.1	+0.9	+0.3	0.4	0.0	-0.2	3.24	3.22	3.20
	六条大麦	カシマムギ	4.2	-0.3	0.0	1.4	-0.2	-0.5	3.22	3.20	3.18
		カシマゴール	4.4	-0.3	-0.5	1.7	-0.3	-0.5	3.19	3.17	3.15
11.19	小麦	さとのそら	3.2	+3.2	+1.3	0.3	+0.3	+0.1	3.28	3.26	3.24

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(前作休耕畑)

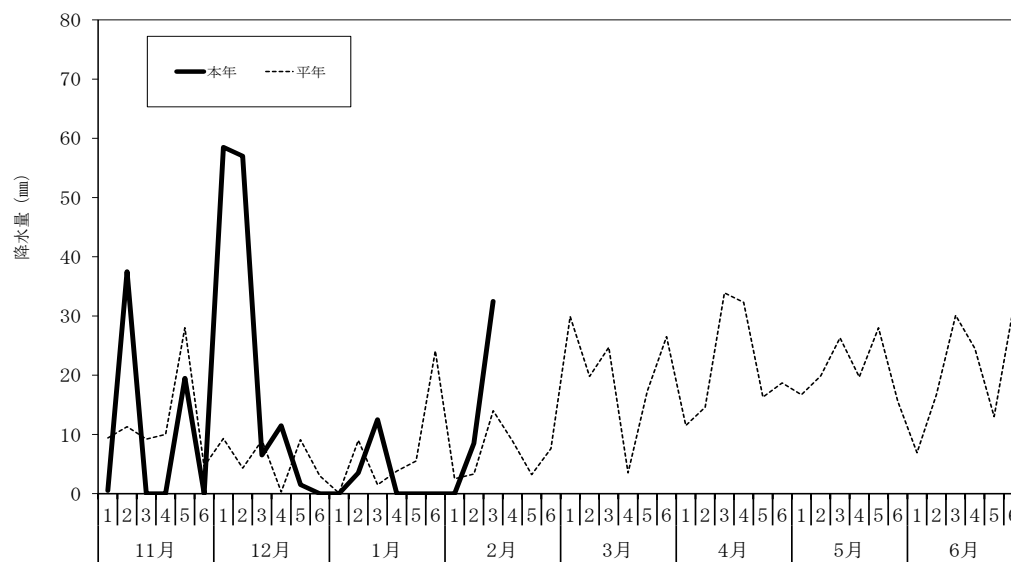
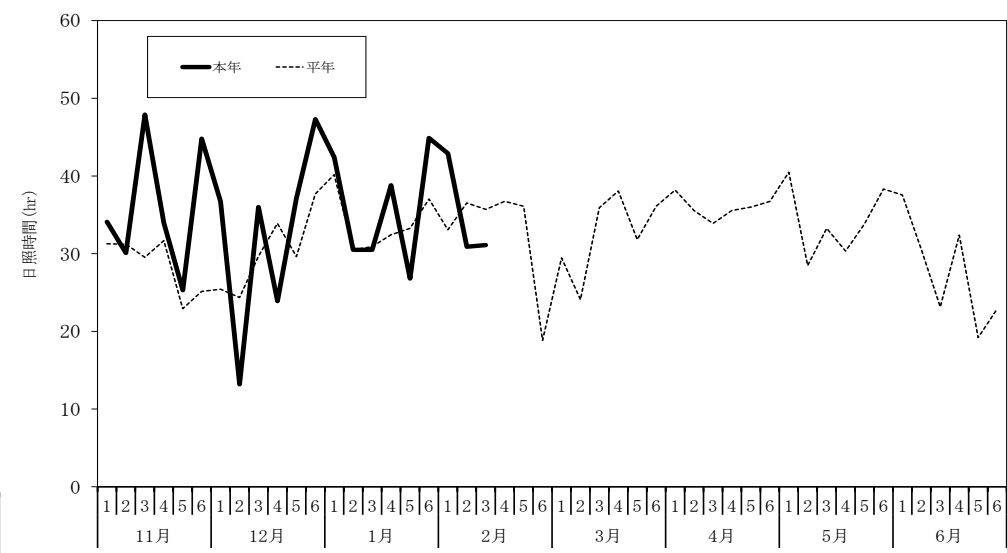
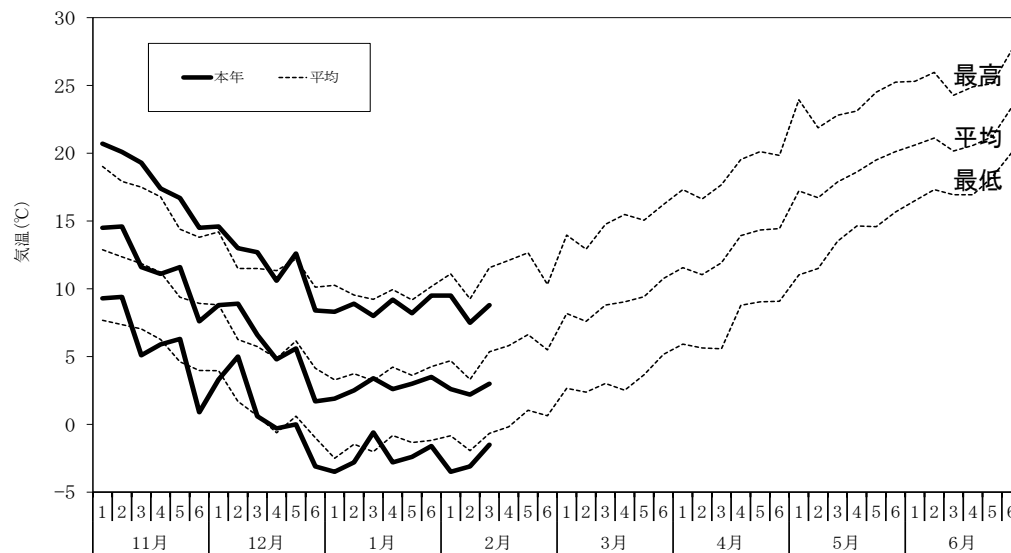
2)播種量:0.8kg/a

3)施肥量:N-P₂O₅-K₂O=0.6-0.6-0.6kg/a

4)播種様式:畦幅30cm、シーダーテープ播種

5)平年値:平成28年～令和2年播種の結果の平均。

6)麦踏み:12月22日、1月18日、2月8日



麦(令和3年播種)における半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)



さとのそら 11月5日播種 (2月17日撮影)



カシマムギ 11月5日播種 (2月17日撮影)



カシマゴール 11月5日播種 (2月17日撮影)



さとのそら 11月19日播種 (2月17日撮影)

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

